

東大人緊急シンポジウム

戦争法案廃案 声上げねば

学生の行動に勇気・息長くたたかう

戦争法案を廃案に追い加しました。
込もうと東京大学関係者が8日、「東京大学人緊急シンポジウム」を同大で開き、350人が参



東京大学人緊急シンポジウム8日、東京都内

ない。学生の運動は国民

に勇気を与えている」と語りました。石川健治教授は「9月18日は満州事変勃発の日。その日の強行採決は安全保障へ脅威をもたらす」と指摘。栗田禎子前日本中東学会会長は「憲法の平和主義は日本外交の最大の資産。米軍との協力は日本を加害者にする」と発言。石田憲千葉大学教授は「立憲主義の破壊は将来にわたる深刻な状況をもたらす」とのべました。

学生が発言しました。集会では、一人ひとりが声をあげれば法案を廃案にできると呼びかけるアピールを採択しました。元自民党政調会長の亀井静香衆院議員が卒業生として「日本はがっつぷちにいる。息の長いたたかいを」と激励。同じく卒業生で日本共産党の宮本徹衆院議員が国会論戦を報告し、廃案への決意をのべました。

6月末に同実行委員会
が呼びかけたアピールへの賛同者は901人（8日現在）になっています。